

令和2年7月10日号 (第209回)

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今回の阿伎留通信は、「救急看護認定看護師の紹介」をテーマに、看護部 外来看護係の平形 亜弥 看護師よりお話しさせていただきます。

救急医療は、突然の病気やけが、状態悪化の際に利用して頂く外来診療です。救急医療の対象は、救急車で搬送される方だけではなく、ご自身で来院された方も含みます。また、年齢、性別、疾患、重症度を問わず、すべての患者さんが救急医療の対象です。



救急医療において、看護師も重要な役割を担います。救急看護の目的は「命を救い、生を支える」ことであり、患者さんが来院されてから、帰宅又は入院されるまで救急処置や精神的サポートなどに関わります。特に来院直後の対応が患者さんの治療や、その後の生活に影響するため、責任ある役割だと自覚しています。

そういった救急看護の中で、中心的な役割を担うのが「救急看護認定看護師」です。今回は、救急看護認定看護師の役割や活動内容について紹介させていただきます。

救急看護認定看護師の活動内容

1. 来院前からご帰宅、入院時の初期対応

救急外来にかかる場合、来院前にご連絡を頂き、患者さんの状態を把握した上で受け入れの準備を行っています。電話での情報から重症で緊急度が高いと予測される場合には、スタッフの増員や、心臓カテーテル検査などに即時対応できるよう各部署へ情報共有と準備を行うなど、緊急時に備えています。

来院された患者さんには、電話でお聞きした症状や負傷の程度が悪化していないか、状態の把握を行います。次に重症度・緊急度が高いと判断した場合には、スムーズに治療が行えるよう迅速な対応に努めます。

看護師が担う業務は、医師が行う医療行為や検査の介助、蘇生処置、生活行動の援助、精神的サポートなどです。つらい症状の患者さんの苦痛が少しでも軽減できるよう病状に合った看護の提供を行っています。

2. 患者さんとその家族への心のケア・療養生活へのアドバイス

救急医療を必要とする患者さんご本人はもとより、ご家族も不安を抱えています。医療者が患者さんの治療を行っている間、ご家族に対しては、現在行っている検査や処置の内容、所要時間の目安、患者さんの状態などを適時伝え、不安の解消に繋がっています。患者さんやご家族が心穏やかに過ごせるよう、傾聴し寄り添う看護を日々心がけています。



また、「こんな時は受診した方がいいの？それとも様子をみていいの？」など迷われる場合も多いと思います。救急看護では、救急外来の受診についての問い合わせや、突然のつらい症状などの相談に対し、医師と連携を取り、適切な助言を行っています。さらに、受診後帰宅された際に注意する点や日常生活の過ごし方、受診のタイミング等についてもわかりやすい指導を心がけています。

3. 勉強会の開催、看護師の教育

救急看護認定看護師は病院外での活動として、保育園や高齢者施設、公共施設での講演会や、救命・救急処置、疾患に関する勉強会や指導などを開催しています。(内容により他の分野の認定看護師が講演を行うことがあります) お申込み窓口は地域医療連携センターになりますので、まずはお問い合わせください。

年々増加する救急搬送患者に対応し質の高い看護を行うため、最新の知見を学び、根拠ある看護をスタッフ一同で目指しています。また救急医療を必要とするすべての患者さん及びご家族の方に安心できる医療と、患者さんに寄り添える看護が提供できるよう、日々救急外来スタッフに指導や教育を行っています。

阿伎留通信については、バックナンバーを公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)